

【 事業者向け 】 放課後等デイサービス 評価表アンケート

配布数 7 回収数 7

回収率 100.0%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	14%	0%	・適切な広さを持って行えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	86%	14%	0%	・利用者の人数に合わせた人員配置ができています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	57%	43%	0%	・入口がスロープになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	57%	43%	0%	・定期的を実施している。
	⑤	保護者等評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の以降等を把握し、業務改善につけているか	71%	29%	0%	・アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につけていけるように職員間で話し合い、その都度改善している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	57%	43%	0%	・この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	57%	43%	0%	・第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14%	86%	0%	・定期的に研修をしてスキル向上を図っている
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	71%	29%	0%	・事前にアセスメント用紙や最近の様子などを聞き、把握している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%	0%	・事業所内で決めた標準化されたアセスメントツールを用いて行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	・毎月職員間で話し合い、その都度子どもたち一人ひとりに合ったプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	・プログラムが固定化されないように季節感が感じ取れるものや、子どもたちの趣味趣向に合わせたプログラムを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	・しっかりと毎回見直しを持って課題を設定していき、支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・曜日や子どもたちの人数に合わせて、活動の形態を変えていき、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・朝礼や昼礼を通して職員間の認識をまとめていき、支援や各担当業務を行っている。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	71%	29%	0%	・毎日は出来ていないが、週に1回職員間で
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	57%	43%	0%	・日々の記録に関しては欠かさず行っているが、人によって書き方が変わってくるので、事業所として統一出来るようにしていく。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	57%	43%	0%	・定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行い判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	57%	43%	0%	・その都度確認をしてガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%	14%	0%	・基本的には児童発達支援管理責任者が中心となって行っている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	71%	29%	0%	・日々保護者様や学校からいただいた情報については職員が確認できる連絡ツールを用いて報告している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	29%	71%	0%	・該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	43%	57%	0%	・着手出来ていないため園と確認して可能であれば対面やオンラインを用いて情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	14%	86%	0%	・該当者なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	57%	43%	0%	・実地はできていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14%	86%	0%	・イベント等で兄弟児などと交流がある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0%	100%	0%	・実地はできていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・送迎時や面談時に保護者様には、お子さんの発達の状況や課題について説明を行い、ご理解いただいている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14%	86%	0%	・送迎時や面談時に保護者様から、お子さんへの対応方法に聞かれた場合は行っている。
	保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	71%	29%	0%
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	・送迎時や面談時に保護者様から、お子さんへの悩み事や相談事があった場合は、その都度行っている。
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	43%	57%	0%	・周年でその機会を設けるようにしている
㉓		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・子どもや保護者様から苦情があった場合は、迅速かつ適切な対応を心がけて行っている。また、今後同じような内容の苦情が出ないような体制作りを職員間とミーティングを行い作っている。
㉔		定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・定期的に会報を発行し、事業所内での活動や行事予定について発信している。
㉕		個人情報に十分に注意しているか	86%	14%	0%	・個人情報には十分に気をつけ、各個人の情報はキャビネットにて保管している。

非常時等の対応	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	71%	29%	0%	・障がいのある子どもや保護者との意思の疎通については、その人に伝わる方法を用いて情報伝達を行っている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14%	86%	0%	・着手に至っていない
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	57%	43%	0%	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・定期的に職員と子どもたちが一緒になって非常災害や防犯を意識した避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	43%	57%	0%	・職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	86%	14%	0%	・やむを得ず虐待や身体拘束を行うかについて、委員会を発足して防止に努めている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	86%	14%	0%	・食物アレルギーについては医師や保護者様から頂いた指示書を基に行っている。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	86%	14%	0%	・ヒヤリハット内容については、事例集を作成して事業所内で共有できる状態になっている。	

◆改善目標

・ミーティングにおいて子どもたち一人ひとりの支援内容の確認や職員間での支援方針の理解を図り、より良い支援が行えるようにしていく。また、常日頃変わっていく子どもたちの趣味趣向に沿った活動を行っていき、子どもたち一人ひとりが充実した時間が過ごせるようにしていく。

- ・お子さんと一緒に保護者様が参加が出来るイベントや保護者様同士の交流・関わりが持てる機会を増やしていきけるようにしていきます。
- ・多角的な視点から子どもたちの支援を行っていくために、幼稚園や児童発達支援センター、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し子どもたちの支援を行っていく。
- ・月一回は事業所内研修を行いスタッフのスキルアップや支援に対しての向上を図るようにしている。